

# 第3章 華南地域(広東省、福建省、海南省)

## 1. 広東省

2024年の広東省の域内総生産（GRP）は前年比3.5%増の14兆1,633億8,100万元であった。5%前後と定めていた成長率の目標を下回る結果となった。中国の2024年のGDPは前年比5.0%増の134兆9,084億元で、中国全体に占める広東省の割合は10.5%となった。

### 広東省の経済動向

主要経済指標でみると、2024年の広東省の社会消費品小売額は前年比0.8%増の4兆7,900億元となった。うち、飲食業は2.5%増、実物商品小売りは0.6%増で、共に微増だった。オンラインショッピングは引き続き好調な成長を示し、広東省内で一定規模以上企業（注）の、オンラインでの実物商品の小売額は7.0%増で、一定規模以上の企業の商品小売額全体の39.6%を占めている。

貿易総額は前年比9.8%増の9兆1,126億元、うち輸出総額は8.4%増の5兆8,915億元、輸入総額は12.5%増の3兆2,211億元だった。うち、深圳市の貿易総額は4兆5,048億元で16.4%増加し広東省の貿易総額の49.4%を占め、9年ぶりに中国国内1位となった。また、輸出総額は14.6%増の2兆8,122億元で、32年連続で中国国内1位となった。

固定資産投資額は前年比4.5%減で、うち、インフラ投資が0.2%増、不動産開発投資が18.2%減だった。業種別にみると、電子・通信機器の製造業が14.3%増、ソフトウェア・情報技術のサービス業が42.1%増となった。

2025年1月15日に開催された広東省第14期人民代表大会第3回会議において、王偉中省長は「広東省の経済は外部環境の変化により、需要の不足、一部企業の経営困難、不動産市場の不景気などの困難に直面している。ハイテク産業・イノベーション分野における中核技術が、外国による技術封鎖の危険にさらされているという問題もいまだに根本的解決に至っていない」と述べた。また、2025年の経済成長率目標について、実質GRP成長率を前年比5%前後、社会消費品小売額を5%前後、一定規模の工業生産増加額（付加価値ベース）を6%前後増加させるとした。

注：一定規模以上の企業とは、以下のとおり。主業務の年間収入が2,000万元以上の卸売業、500万元以上の小売企業、200万元以上のホテルや飲食業を指す。

### 広州市の経済動向

2024年の広州市の域内総生産（GRP）は前年比2.1%増

の3兆1,033億元であり、成長率は目標としていた5%以上を大きく下回った。産業別は、第一次産業が1.0%増、第二次産業が0.7%増、第三次産業が2.6%増となった。

小売売上高は微増の前年比0.03%増で1兆1,056億元となり、うち、オンライン小売売上高が3.9%増で、小売売上高全体の27.8%を占める。商品別では化粧品が13.8%増、家具の販売額が55.4%増となった。固定資産投資は0.2%増となり、分野別では、工業向けが13.6%増、インフラ向けが7.7%増、不動産開発向けが7.4%減の結果となった。

また、貿易総額は前年比3.0%増の1兆1,238億元となり、うち、輸出総額は7.8%増、輸入額は4.0%減となった。住民1人当たりの平均可処分所得は、都市部が3.6%増の8万3,436元、農村部が6.0%増の4万914元となった。

### 深圳市の経済動向

2024年の深圳市の域内総生産（GRP）は前年比5.8%増の3兆6,802億元であり、目標としていた5.5%を達成した。産業別は、第一次産業が1.5%増、第二次産業が8.3%増、第三次産業が4.3%増となった。

小売売上高は前年比1.1%増の1兆638億元で、連続2年で1兆元を超えた。うち、商品は1.0%増、飲食は1.5%増となった。固定資産投資は2.4%増で、分野別では、工業向けが20.1%増となった。

また、貿易総額は前年比16.4%増の4兆5,048億元となり、うち、輸出額は14.6%増、輸入額は19.6%増だった。消費者物価指数（CPI）は0.1%上昇した。

表：広東省、広州市、深圳市の経済動向（2024年）

| 項目                  | 単位 | 広東省     | 伸び率    | 広州市    | 伸び率   | 深圳市    | 伸び率   |
|---------------------|----|---------|--------|--------|-------|--------|-------|
| ①GRP                | 億元 | 141,634 | 3.5%   | 31,033 | 2.1%  | 36,801 | 5.8%  |
| うち第1次産業             | 億元 | 5,837   | 3.4%   | 334    | 1.0%  | 26     | 1.5%  |
| うち第2次産業             | 億元 | 54,365  | 4.4%   | 7,839  | 0.7%  | 13,909 | 8.3%  |
| うち第3次産業             | 億元 | 81,431  | 2.8%   | 22,858 | 2.6%  | 22,866 | 4.3%  |
| ②一定規模以上工業企業の付加価値増加額 | 億元 | -       | 4.2%   | -      | △3.0% | -      | 9.7%  |
| ③固定資産投資             | 億元 | -       | △4.5%  | -      | 0.2%  | -      | 2.4%  |
| うち不動産開発投資           | 億元 | -       | △18.2% | -      | △7.4% | -      | -     |
| ④社会消費品小売総額          | 億元 | 47,900  | 0.8%   | 11,056 | 0.03% | 10,638 | 1.1%  |
| ⑤貿易額                | 億元 | 91,126  | 9.8%   | 11,238 | 3.0%  | 45,048 | 16.4% |
| うち輸出                | 億元 | 58,916  | 8.4%   | 7,005  | 7.8%  | 28,122 | 14.6% |
| うち輸入                | 億元 | 32,211  | 12.5%  | 4,233  | △4.0% | 16,926 | 19.6% |

出所：広東省、広州市、深圳市の各統計局

## <地方政府等との交流の状況>

ジェトロ広州事務所は在広州日本国総領事館、各商工会と協力し、広東省政府および省内の地方政府との関係強化を続けており、2024年度には広州市、深圳市、東莞市との意見交換会を下記の通り行った。

### 広州市と進出日系企業との意見交換会

- ・開催日：2025年1月17日
- ・中国側参加者：広州市副秘書長、広州市投資発展局副局長、広州市商務局副局長等 約50名
- ・日本側参加者：在広州日本国総領事館、ジェトロ広州事務所、広州日本商工会員企業等 約50名
- ・交流内容：生活環境、都市・交通、個人所得税還付、産業政策、ビジネス環境などの分野より13項目を要望として提起し、広州市関連政府部門から回答を得た。

### 深圳市と進出日系企業との意見交換会

- ・開催日：2024年9月20日
- ・中国側参加者：深圳市投資促進局副局長、国家税務総局深圳市税務局政策法规処、深圳市發展改革委員会等 約40名
- ・日本側参加者：在広州日本国総領事館、ジェトロ広州事務所、深圳日本商工会員企業等 約40名
- ・交流内容：粵港澳大湾区の個人所得税優遇政策および申請、外国人従業員社会保険免除期間延長の申請、社会保険および住宅積立金の遡及期間、深圳市の最低賃金、育児休暇の賃金水準、経済補償金の計算、ビザ問題、AEO認証基準が求める犯罪履歴調査、クロスボーダーサービスに適用される増値税免税政策、新会社法の下での従業員董事・監事設置、法定代表者の変更手続、政府コンサルティング窓口、電力単価問題、日本人学校の移設、緑証および脱炭素政策、大規模設備更新の推進行動プラン、脱炭素化を進める際の奨励金など、全20項目の要望や質問を提起し、深圳市関連政府部門と意見交換を実施。

### 東莞市と進出日系企業との意見交換会

- ・開催日：2024年11月13日
- ・中国側参加者：東莞市人民政府副市長、東莞市政府副秘書長、東莞市商務局長、東莞市外事局局長等 約40名
- ・日本側参加者：在広州日本国総領事館、ジェトロ広州事務所、東莞東部日本人会、東莞日系企業連絡会、東莞石龍日本人会等 約40名
- ・交流内容：グリーン電力証書（緑証）および脱炭素政策、脱炭化奨励政策、循環経済政策、電気料金の単価、大規模設備更新の推進、個人所得税優遇政策、新会社法における従業員董事および従業員監事等に関する問題、権利侵害・模倣行為の取り締まりに関する問題、外国人の安全保護等9つの問題を提起し、東莞市関連政府部門と意見交換を実施。

## <建議>

各現地政府との意見交換会にて日系企業から提出された主な課題・要望、および日系企業との面談時に提起された問題を以下の通り建議事項としてまとめた。

### ① 大湾区個人所得税優遇政策

粵港澳大湾区の個人所得税優遇政策は、引き続き外資系企業より高い関心が寄せられている。しかしながら、2023年分について一部地域でまだ申請開始時期・申請方法が発表されていない（2025年2月時点）。前年同様、市によっては申請期間が短く、企業が通知を知った際には準備が間に合わず申請できないという例があるため、2023年度分・2024年度分ともに十分な申請期間と周知の時間を設けていただくよう要望する。

### ② グリーン分野支援策

カーボンニュートラルや省エネ/再エネ推進にあたり、政府が打ち出す関連施策や奨励金、補助金などがあれば導入を加速できる可能性がある。広州市政府は2024年12月4日、「水素産業の質の高い発展を促進する若干の措置」（穗府弁規〔2024〕16号、以下、措置）を発表したが、その他にも新規設備導入などにおける補助金制度があればインセンティブになるため、企業のグリーン分野における積極的な取り組みについて支援を要望する。また、関連政策の実際の利用事例の公開を要望する。

### ③ 工業用地の用途変更の問題

広東省の一部の都市では、都市化の進展と共に、従来は工業用地であった土地が住宅用地や教育用地として用途変更され、日系企業の工場がある用地に近接して、住宅や学校が建設されるようになってきている。また同様に三旧改造と称して計画移転を求めるが、具体的進捗がないまま中断されている動きがある。こうした状況に置かれた日系企業はこのまま操業を継続できるのか不安に考えている。特に賃貸契約で土地建物を借用している際に、説明がない場合がある。工場の近隣に住宅や学校を建設する際には、事前に操業している企業にその旨と今後の操業への影響等につき十分に説明いただくよう要望する。また、工場移転を迫る場合には代替地を提供すると共に移転費用を負担いただくよう要望する。

### ④ 電力料金に関する問題

2024年は各地で電気料金が時間帯に応じて単価（単位当たりの価格差）の幅が大きくなる施策が実施された。これにより企業によっては実質的に電力料金の負担増が生じている。景気が上向かず、経済見通しも不透明な中での電気料金の負

担増は、企業経営にさらなる経営困難をもたらしている。政府には現在の経済状況を考慮して、電気料金の負担軽減措置の実施を要望する。

#### ⑤ 日系企業が安心して中国企業と取引できる環境の整備

近年、従来は日系企業への販売が中心だった日系企業が中国企業へも販売先を拡大しようとする動きが見られる。しかし、「中国企業への販売後は、短くても半年後、長ければ1年後に代金が支払われる」という話もあり、こうなると多額のキャッシュフローが必要となるため、中国企業への販売に踏み切れない日系企業もある。中国には日本にある「下請代金支払遅延等防止法」のような法律がなく、取引において優越的な地位にある企業の支払い遅延行為は納入元の企業経営に大きな影響を及ぼす。公正な商取引を促進するためにも、また下請取引の公正化・下請事業者の利益保護のためにも、同種の法律の整備を要望する。

#### ⑥ 過去の土地契約をめぐる問題の解決

広東省の一部地域では、進出時に当該企業が土地使用权を購入しているにもかかわらず、「土地補償金」「協力サービス費」等の名目で地元政府の土地開発公社等に定期的に費用を支払っている例がある。こうした企業は1990年代から2000年代かけて広東省に進出しており、土地使用权購入時に当該内容の付帯契約を締結していることが原因であるが、長年にわたるこのような費用の支払いは企業経営を圧迫している。合理性に欠ける費用の支払いをなくし、企業の経営環境の改善を要望する。

#### ⑦ 日系商工会組織が直面している困難の解決

広東省には各地に進出日系企業で構成される日系商工会組織が存在し、その数は10を超える。こうした日系商工会組織の中には会員企業数が数百社に及ぶ大きな組織もあり、銀行口座が開設できない、事務所借用ができない等、運営上でさまざまな困難を抱えている。日系商工会組織は広東省と日本の経済関係の強化に大きな役割を果たしており、広東省として、こうした日系商工会組織を含めた外国商工会組織が円滑に活動できるような条例の整備を要望する。

#### ⑧ 社会全体の安全確保

近年、公共の場での暴力事件が増加しており、日本人が巻き込まれる事件も発生している。2024年9月、深圳市で日本人学校の児童が通学中に男に襲われ、亡くなった。また、11月には珠海市で体育施設の歩行者道路に暴走した自動車が突っ込み、78人が死傷した。広東省外でも、2024年6月に江蘇省蘇州市で日本人の母子が襲われ中国人女性が殺害される事件が発生している。いずれも、加害者と直接かかわりの

ない人々や罪のない子どもが殺傷されている。これらの犯行は到底許されないものであり、経済活動の根幹を揺るがす。日本人や日本人学校の安全確保に限らず、社会全体の安全の確保と強化を切に要望する。